

第49回けいはんな エジソンの会

2024年ノーベル賞 AI(人工知能)研究が初の快挙

うえだ なおのり
上田 修功氏

「人工ニューラルネットワークによる機械学習
～その発明と応用～」

国立研究開発法人理化学研究所 革新知能統合研究センター (AIP) 副センター長

おおうえ まさひと
大上 雅史氏

「AlphaFold ～タンパク質の立体構造予測がもたらす
未来の創薬・医療～」

東京科学大学 情報理工学院 情報工学系 准教授

1901年より100年以上にわたって人類に多大な貢献をした人物に贈られてきたノーベル賞ですが、昨年初めて物理学/化学の2分野で人工知能の研究者が受賞しました。この受賞は、世界中を驚かせ、コンピューターサイエンスが初めて世界に認められた記念すべき年となりました。

今回の会合では、物理学賞を受賞された「AI(人工知能)の父」と呼ばれるジェフリー・ヒントン氏と深い親交のある上田氏より、受賞内容を通じ、その革新性と様々な領域での影響を、最新研究事例を交えながらお話し頂きます。また、大上氏より、化学賞を受賞したDeepMind社のハサビス氏、ジャンパー氏の研究で、すでに世界の200万人以上の研究者が利用しているAIシステム(AlphaFold)のご説明を通じ、合成生物学の飛躍的な発展による今後の展望についてお話しを頂きます。

両受賞における人工知能の多岐にわたる可能性を目の当たりにしながら、今後も我々の生活や社会の変革にますます大きな影響を与える人工知能と人類の未来について語り合いませんか。

どなたでも
参加できます。
情報交換会も
再開しています。



日 時 2025年 4月 25日 (金) 14:00～18:00

会 場 国際高等研究所レクチャーホール

京都府木津川市木津川台9丁目3番地

参加費 3,000円 学生(大学院生を含む)は無料

定 員 50名(先着順)

申し込み ホームページからお申し込みください
<http://www.ias.or.jp/communication/edison>

締 切 2025年
4月 23日 (水)

けいはんな「エジソンの会」とは…

けいはんな学研都市が標榜する「立地機関間の連携とそれによる成果の創出」を促進するため、国際高等研究所が知的ハブとしての役割を果たし、立地機関の研究者や技術者を中心にあらゆる人が出入り自由なコミュニティの形成と、この街ならではの基幹技術・基幹産業の確立を目指して、2016年6月21日に、けいはんな「エジソンの会」を発足しました。

お問い合わせ エジソンの会事務局

Tel : 0774-73-4000 e-mail : edi-four@ias.or.jp

主催：公益財団法人国際高等研究所

後援：国立研究開発法人理化学研究所、公益財団法人関西文化学術研究都市推進機構

